

シビックセンター施設整備業務〔予算額 1,382,044千円〕

社会文化部文化振興課
文化施設係(23-6977)

財源内訳 国庫支出金 2,814千円、繰入金 376,000千円、市債 900,000千円、一般財源 103,230千円

ホール吊天井の脱落防止対策を行い、利用者の安全確保を図るとともに、老朽化した施設・設備等の更新、バリアフリー化などを中心とした大規模な改修工事を行うことにより、利用者の利便性向上を図ります。

継続

■ 主な改修内容

R6～R8 継続事業

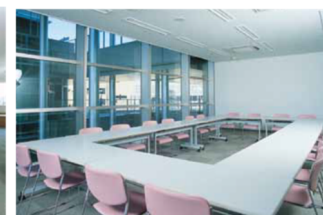
- ・ ホール吊天井の脱落防止対策
- ・ 老朽化した施設、設備等を更新
(空調設備、電気設備、給排水設備、消防設備、
舞台設備(照明、音響)、ホール客席の張地更新、
内装[壁、床、天井]の一部改修など)
- ・ 雨漏り箇所の部分改修
- ・ エレベーターの防災対策改修
- ・ トイレの洋式化、多目的トイレのレイアウト変更
- ・ 照明のLED化



4F コンサートホール コロネット



1F 図書室



2F 集会室



2F 和室

地域文化広場企画展開催業務〔予算額 44,036千円〕

社会文化部地域文化広場
(53-3511)

財源内訳 諸収入 43,050千円、一般財源 986千円

令和 7 年 地域文化広場は 開館 40 周年 を迎えます。

4/19～6/22
チャレンジミッケ！
in おかざき（仮称）

国内累計 1000 万部を突破した大人気絵本「ミッケ！」の東海地方初となる大規模コラボ展覧会です。ミッケの不思議な世界観を堪能いただけます。

6/28～9/7
ニンジャ ～修行の館～
（仮称）

展示室全体がニンジャ修行の場になる体験型展示です。巨大迷路や手裏剣コーナーなどゲーム性の高いもののほか、ニンジャになりきるフォトスポットなどでもお楽しみいただけます。

9/13～12/7
BRIO と世界のオモチャ
展（仮称）

世界でも人気の高いスウェーデン製の知育玩具 BRIO を中心に日本、ドイツ、スイス、フィンランドなど世界の楽しい玩具での遊びを体験できる展覧会です。

12/13～3/15
もののなまえ事典展
（仮称）

大人気雑学本「もののなまえ事典」シリーズが立体になって楽しく学べる展覧会になりました。身の回りあるのになまえを知らないモノのなまえやその由来など楽しみながら学べる展覧会です。

その他の展覧会

- ・ 3/20～3/31 児童画公募展 第 37 回リトルアーティスト展
- ・ 常設展「子どもたちのアール・ブリュット 2025」

※都合により展覧会の内容及び会期を変更する場合があります。

地域文化広場施設整備業務〔予算額 319,920千円〕

社会文化部地域文化広場
(53-3511)

財源内訳 市債 201,000千円、一般財源 118,920千円

全天候型の屋外施設となるよう、ふれあい広場に大屋根を設置します。

【大屋根設置工事】 令和6年度～7年度(継続費)

総額:332,200千円 うち令和7年度分は319,920千円

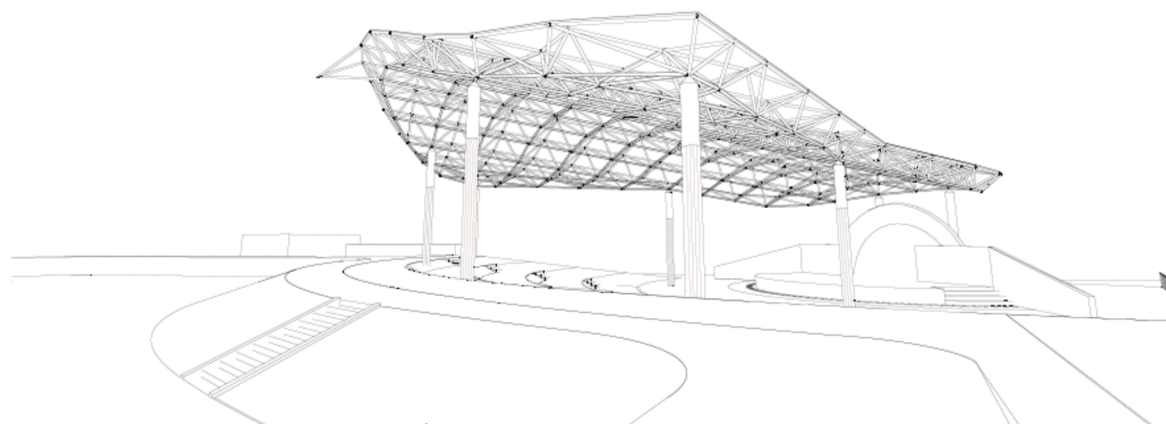
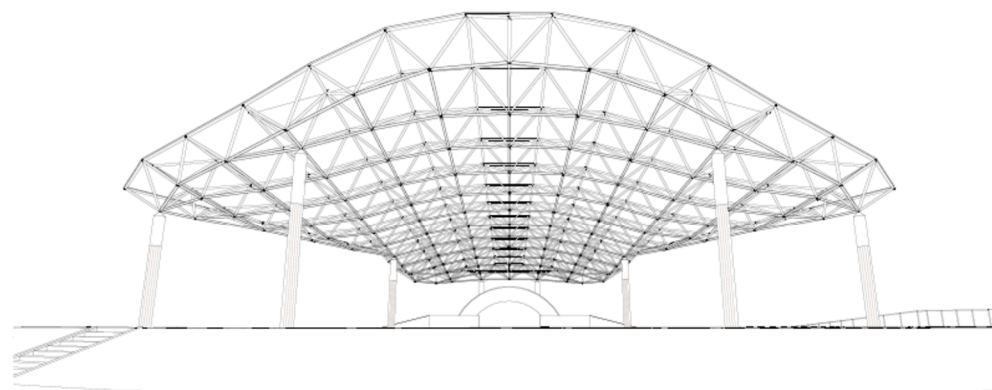
完成予定:令和7年10月末

構造:鉄骨造(立体トラス)幕屋根

令和7年度の主な整備内容

- ・大屋根トラス組立、塗装、幕張
- ・カラーゴムチップ舗装等外構工事
- ・ステージ補修

**令和7年10月
完成予定**



美術博物館施設等整備業務〔予算額 1,546,476千円〕

社会文化部美術博物館
管理係(28-5001)

財源内訳 国庫支出金 1,380千円、繰入金 392,000千円、市債 1,028,000千円、一般財源 125,096千円

R6～R8 継続事業

事業概要

平成7年の竣工以来築年数は28年が経過し、建物や設備機器の経年劣化が進行しており、雨漏り等の不具合が散見されるようになってきました。

令和4年度には第1期改修工事として空調用熱源機器等の設備更新を行いました。第1期改修工事で実施できなかった施設全体の改修工事等を第2期改修工事として実施します。

スケジュール（予定）

令和3年度 第1期実施設計業務

令和4年度 第1期改修工事

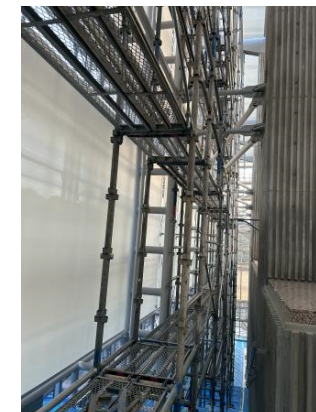
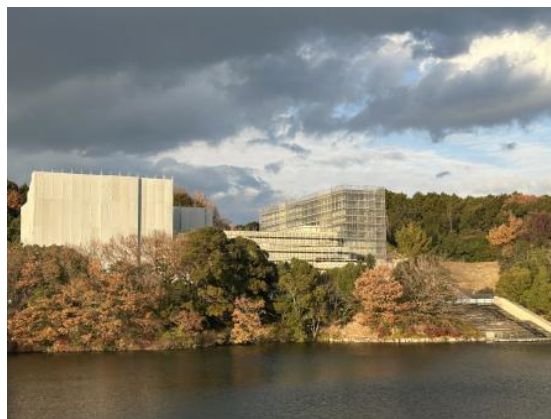
第2期基本設計業務

令和5年度 第2期実施設計業務

令和6年度 工事契約、着工

令和7年度 工事完了（事業完了）予定

令和8年度 7月開館予定



主な改修の概要

鉄筋コンクリート造一部鉄骨造地上2階地下1階建て 延べ6,468.40平方メートル

- 建築改修工事**
- ・外部改修（防水改修、外壁改修、屋上設備置場へのメンテナンス用階段の設置、アトリウム及びレストラン階段室のシーリング打替え改修、レストラン大屋根軒天パネル及び柱の塗替え）
 - ・内部改修（バリアフリー改修、展示室の内装改修、授乳室の新設、トイレ改修（1階東及び2階の館内2箇所）、アトリウムの電動ロールスクリーンの更新、昇降機2号機（乗用）更新、館内各所の防火シャッター及び防火戸の更新、冷温水槽の防水及び保温材の更新）
- 電気設備改修工事**
- ・展示室フロアコンセント及び壁コンセントの更新、館内及び屋外の照明器具のLED化、電気室の直流電源装置の更新、非常放送設備の更新、館内各所の監視カメラの更新等
- 機械設備改修工事**
- ・第2収蔵庫除湿器の更新、セミナールーム調整室更新、レストラン事務所の個別空調機更新、消火設備、給水設備の更新

国際大会等誘致業務〔予算額 135,958千円〕

社会文化部スポーツ振興課
スポーツ事業推進係(23-6597)

財源内訳 県支出金 1,000千円、諸収入 101,549千円、一般財源 33,409千円

事業目的

国際スポーツ大会等の大規模イベントを誘致し、市民に世界トップレベルの技術を見る場を提供することにより、スポーツの裾野拡大やスポーツ意識高揚を図る。

また、地域スポーツコミッションとして、スポーツを活用した地域経済の活性化にも貢献する。

事業概要（スケジュール）

- ・11月6日～9日：FORUM8 RallyJapan2025（世界ラリー選手権）
- ・アジア・アジアパラ競技大会の機運醸成に向けた「フレンドシップ事業」
- ・プロスポーツ、大規模スポーツ大会の誘致及び市内事業者との連携



岡崎城跡整備業務〔予算額 47,267千円〕

教育委員会事務局社会教育課
岡崎城跡係(23－7270)

財源内訳 国庫支出金 17,866千円、一般財源 29,401千円

【事業概要】

岡崎市の象徴であり、市を代表する史跡である岡崎城跡について、「岡崎城跡整備基本計画」に基づき、歴史文化資産としての価値を高めるため、事業を進めていきます。

- ◇岡崎城跡整備委員会の開催
- ◇岡崎城跡龍城堀石垣整備工事
- ◇石垣の測量（二の丸西側他）・変位計測（8箇所）
- ◇石垣点検業務
- ◇菅生川端石垣環境整備業務



石垣の三次元測量



岡崎城跡龍城堀石垣整備工事

令和5年4月に崩落した石垣について、令和6年度に発掘調査及び整備のための詳細設計を実施した。それに基づき令和7年度は石垣の整備及び石垣上部のスペースに新たな展望空間の創出を行う。

タブレット型情報端末運用管理業務〔予算額 524,479千円〕

教育委員会事務局教育政策課
GIGAスクール戦略係(23-7959)

財源内訳 県支出金 278,923千円、財産収入 21,849千円、一般財源 223,707千円

継続

【事業概要】 ～2学年分（市立小学校6年生、中学校1年生）のタブレット端末を更新～

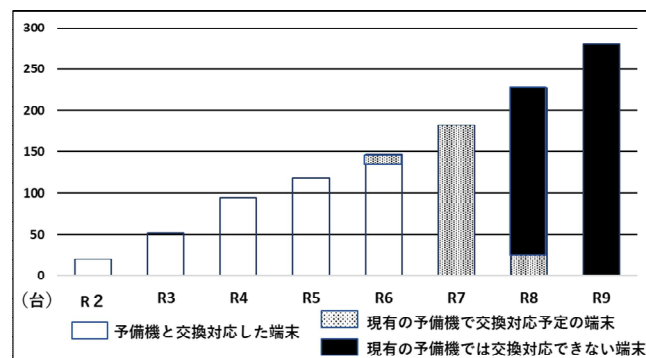
GIGA スクール構想の中核となる1人1台タブレット型端末について、運用開始から5年以上が経過し、バッテリーの消耗等の不具合も増えてきたため、段階的に現行機の更新を進める。1人1台端末を、継続的に安定して利用できるように環境を整えることで、個別最適な学びや対話的な学びの充実にに向けた授業改革を推進し、Society5.0 時代を豊かに生きる情報活用能力をはじめとした子供たちの資質や能力を育む。

【現行端末の不具合発生率と不具合台数】(総台数 36,184 台)

	不具合発生率	不具合台数(※)
R2 運用1年目	0.06%	20台
R3 2年目	0.14%	52台
R4 3年目	0.26%	95台
R5 4年目	0.33%	118台

※不具合…端末本体で発生した故障。充電がうまくできない、正常に動作しないなど。予備機との交換により対応する。

【不具合台数の推移】(R6年12月～令和9年は予測値)



現行端末の課題と更新に向けた考え方

現在(令和6年12月時点で)保有している予備機は 207 台。不具合台数がこれまでと同ペースで増加するように予測すると、今後、交換対応ができる予備機が不足する。

→ 令和7年度から、タブレット端末を段階的に更新する必要がある(令和7年度は2学年分を更新)。

→ 国は GIGA スクール構想第2期(令和6年度から)を念頭に、都道府県に基金を造成し、都道府県を中心とした共同調達など、計画的・効率的な端末整備を推進



県による共同調達の内容(R7)

【調達費用】 1 台あたり55,000円以内

【補助額】 1 台あたり 55,000 円を上限として、その 2/3 を補助

【調達範囲】 本体(iPad 第10世代)、キーボード(ケース含む)、画面保護フィルム、MDM、運搬費、保護フィルムのセッティング費用等

情報教育推進業務〔予算額 74,458千円〕

教育委員会事務局教育政策課
GIGAスクール戦略係(23-7959)

財源内訳 国庫支出金 19,240千円、一般財源 55,218千円

【事業概要】～市内小学校1年生の教室に電子黒板を整備～

拡充

1人1台タブレット環境を拡充し、教育 DX による授業改善や学び方改革を推進するために、電子黒板を全中学校、全小学校(2～6年生)に加え、令和7年度は、全小学校1年生の普通教室に整備します。

電子黒板は、1人1台タブレット端末等の ICT 機器の中核に位置付くもので、子供の学びを他とつなぐ「学びのインターフェイス」としての役割を果たし、岡崎のすべての子供たちの学びを保障します。



電子黒板は岡崎版GIGAスクールを拡充する重要なツール

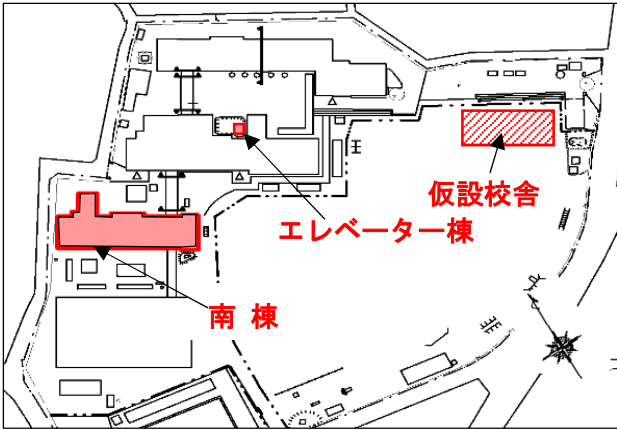
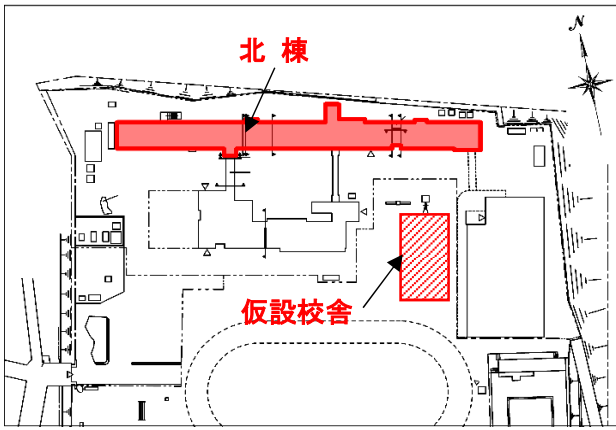
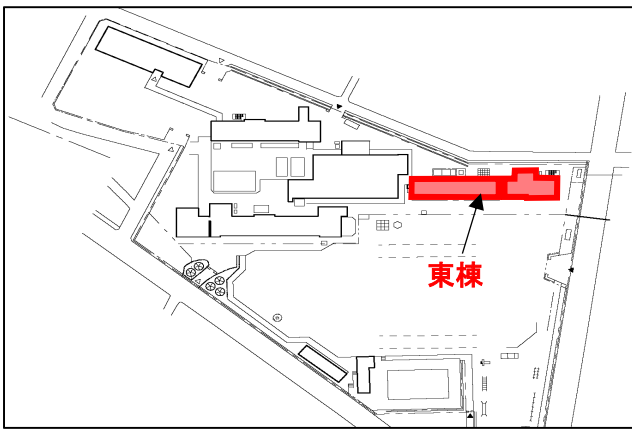


子供たち一人ひとりの個性 + 岡崎版GIGAスクール → すべての子供たちの学びの保障



小学校校舎改修業務〔予算額 156,597千円〕 〔令和6年度3月補正に前倒した予算額 1,274,331千円〕 美合小学校校舎整備業務〔令和6年度3月補正に前倒した予算額 56,396千円〕 (合計予算額 1,487,324千円)	教育委員会事務局施設課 整備係(23-6422)
財源内訳 繰入金 1,000千円、一般財源 155,597千円	

老朽化している校舎の大規模改修工事を実施し、安全で快適な教育環境を確保します。

工 事	実 施 設 計
●美合小学校 ・令和5年度：実施設計 ・令和6～7年度：南棟大規模改修工事 エレベーター棟増築工事	●矢作北小学校 ・令和7年度：実施設計 ・令和8～9年度：東棟大規模改修工事予定
●根石小学校 ・令和4年度：実施設計 ・令和6～7年度：北棟大規模改修工事 	 

【工事内容】外部改修（屋根、外壁）、内部改修（天井、床、壁、建具、家具、トイレ）、設備の更新（受変電設備、照明、受水槽、消防設備）、その他（内装木質化、段差解消）

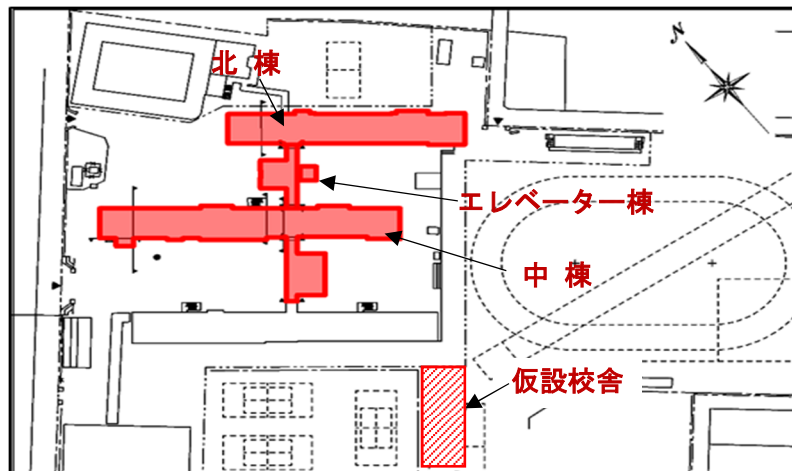
中学校校舎改修業務〔予算額 115,334千円〕 〔令和6年度3月補正に前倒した予算額 664,001千円〕 矢作・岩津中学校校舎整備業務〔令和6年度3月補正に前倒した予算額 29,180千円〕 (合計予算額 808,515千円)	教育委員会事務局施設課 整備係(23-6422)
財源内訳 一般財源 115,334千円	

老朽化している校舎の大規模改修工事を実施し、安全で快適な教育環境を確保します。

工 事

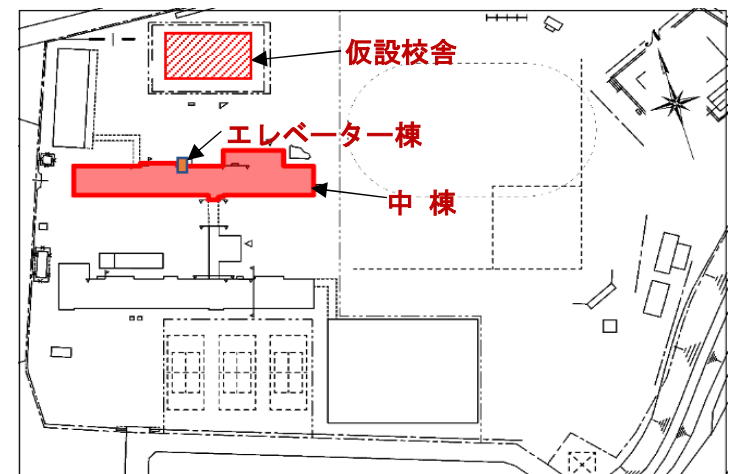
●矢作中学校

- ・令和5年度：実施設計
 - ・令和6～7年度：北棟大規模改修工事
 - ・令和7～8年度：中棟大規模改修工事
- エレベーター棟増築工事



●岩津中学校

- ・令和6年度：実施設計
 - ・令和7～8年度：中棟大規模改修工事
- エレベーター棟増築工事



【工事内容】外部改修（屋根、外壁）、内部改修（天井、床、壁、建具、家具、トイレ）、設備の更新（受変電設備、照明、受水槽、消防設備）、その他（内装木質化、段差解消）

中学校屋内運動場改修業務〔予算額 154千円〕

〔令和6年度3月補正に前倒した予算額 966,603千円〕（合計予算額 966,757千円）

教育委員会事務局施設課
整備係(23-6422)

財源内訳 一般財源 154千円

近年の夏場の猛暑化においても安心して授業を実施できるよう、市内20校の中学校屋内運動場へ空調設備を整備し、教育環境の改善を図ります。

空調設備整備の内容

- ・ 屋内運動場と柔剣道場へ空調設備を整備します。
- ・ 災害時に電気や都市ガスの供給が停止した場合にも空調設備を使用できる設備とします。
- ・ 断熱対策として、屋根への遮熱防水と窓ガラスへの遮熱・断熱フィルム貼りをを行います。

令和8年度
完成予定

他市の整備事例



職員給与費等〔予算額 6,205千円〕

教育委員会事務局学校指導課
指導管理係(23-6877)

体育行事活動等推進業務〔予算額 120,917千円〕

財源内訳 県支出金 48,196千円、一般財源 78,926千円

小中学校児童生徒のスポーツ精神育成・技能向上のため、部活動振興を図り、技能的指導及び各種スポーツ大会を充実させる。特に、部活動地域移行の円滑な推進を図る。

拡充

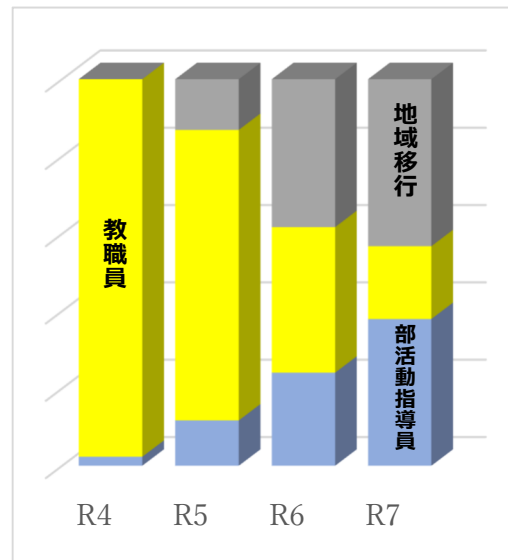
部活動指導員の増員

《部活動に関わる指導者》

顧問（教職員）	650人
部活動指導員	156人
合計	806人

全中学生の約80%（8,800名）が休日の部活動に参加している。それに対して806名の教職員及び指導者が岡崎市の部活動を支えている。

《部活動指導員の増員計画》

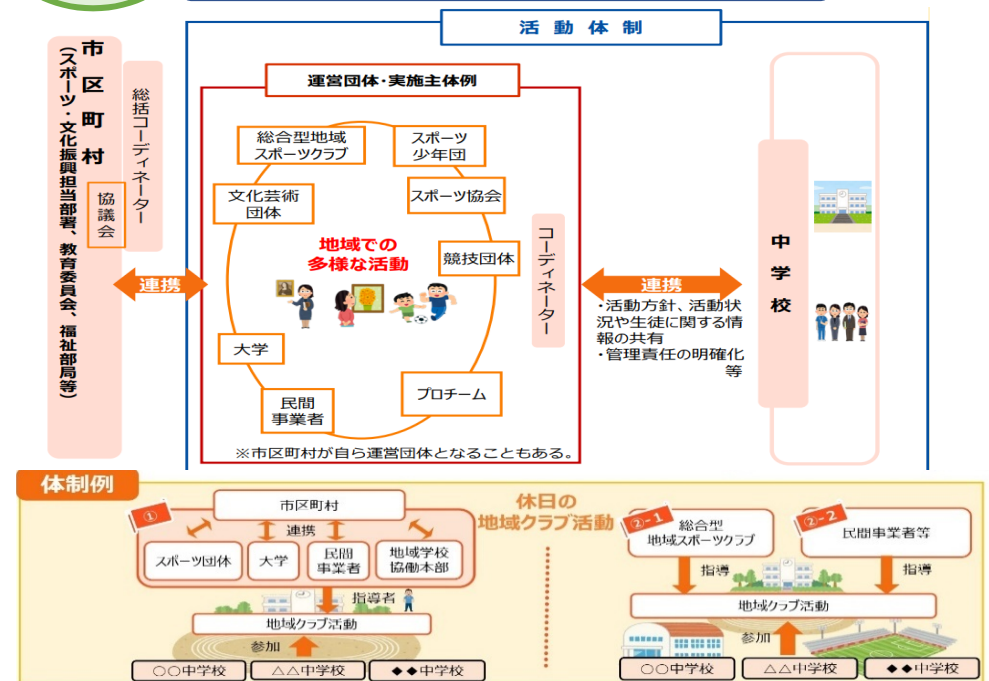


部活動指導員を90名増員 ⇒ 156名から246名に拡充

- ・部活動指導員は単独で指導することができるため、教員による部活動指導の負担を軽減することができる。
- ・多くの生徒に専門的な指導を行うことが可能となる。
- ・顧問とともに、練習試合や大会の引率・指導が可能である。

継続

地域移行活動体制整備委託料



持続可能な運営に向けた体制整備や質の確保 ⇒ 1,935千円

- ・市内全ての運動部、文化部の地域移行の実現への方策について検討や支援を行う。
- ・市内大会の外部審判員や会場使用料等、地域移行における活動の体制を整備する。

児童生徒健全育成推進業務〔予算額 166,425千円〕

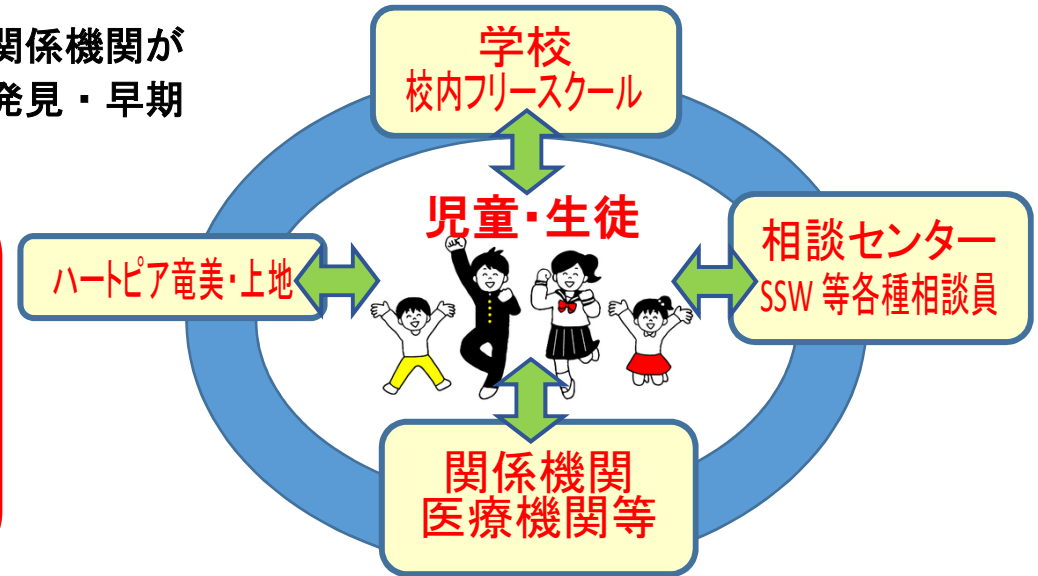
教育委員会事務局

教育相談センター(23-6772)

財源内訳 国庫支出金 12,521千円、県支出金 1,131千円、繰入金 15,000千円、諸収入 725千円、一般財源 137,048千円

児童生徒の健全育成のため、学校・家庭・地域・各関係機関が連携し、いじめ・長期欠席等に対する未然防止・早期発見・早期対応の実現を図ります。

- 社会的な自立を将来の目標に、市内公立小中学校の校内フリースクールや夜間学級、岡崎市フリースクール「ハートピア竜美・上地」において長期欠席児童生徒へ支援・指導を行います。
- スクールソーシャルワーカー、臨床心理士、登校支援員等による各種相談・支援体制の充実を図ります。



拡充 校内フリースクール

- 校内フリースクールを小学校5校へ拡充
- ⇒児童生徒の多様性への対応による長期欠席の未然防止
- ⇒教室復帰だけでなく社会的な自立を目指した支援の充実
- ⇒校内フリースクールを活用する児童生徒の自己肯定感や自尊感情の向上
- ⇒個の学習状況に応じた指導や配慮の充実

拡充 夜間学級

- 夜間学級を中学校 10 校へ拡充
- ⇒他の児童生徒がいる時間帯には登校できない生徒、家から出ることが難しい生徒の長期欠席の自立支援
- ⇒夜間学級を活用する生徒の自己肯定感や自尊感情の向上
- ⇒校内フリースクール開設時間を拡大し、個の学習状況に応じた指導や配慮の充実(週1回2時間程度)

継続

スクールソーシャルワーカーの継続配置

- スクールソーシャルワーカー10人を継続配置(ロング5人、ショート5人)
- ⇒複雑な家庭環境に起因した長期欠席の未然防止
- ⇒児童虐待、ヤングケアラー等の課題への対応の充実
- ⇒アセスメントやケース会議等、学校への具体的支援の強化・充実
- ⇒中学校区に拠点を置く拠点校配置のSSWを継続配置